

令和3年3月長浜市教育委員会臨時会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和3年3月8日（木） 午後1時30分～午後2時26分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	西橋 義仁（教育長職務代理者）
委員	廣田 光前
委員	美濃部俊裕
委員	中村 亜紀

4. 欠席者

委員	宮本 麻里
----	-------

5. 出席事務局職員

教育部長	酒井猛文
次長兼教育総務課長事務取扱	鵜飼康治
次長	清水伊佐雄
教育総務課長代理	今井健剛
教育総務課係長	西川洋輔

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第1 会議録署名委員指名

日程第2 議案審議

議案第5号 長浜市立小学校、中学校及び義務教育学校の校長及び教頭の  
任免の内申について

日程第3 その他

3. 閉 会

### Ⅲ. 議事の概要

#### 1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

#### 2. 会議録署名委員指名

廣田委員、中村委員

#### 3. 議案審議

「議案第5号 長浜市立小学校、中学校及び義務教育学校の校長及び教頭の任免の内申について」は、人事に関する案件であり、公にすることにより市民等の間に混乱を招くおそれがあることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開としたい旨の発議が教育長よりあり、委員の全会一致で可決された。

議案第5号 長浜市立小学校、中学校及び義務教育学校の校長及び教頭の任免の内申について（会議非公開）

教育長は事務局に説明を求め、清水次長から資料に基づき説明があった。特に意見はなく、各委員とも異議なしということで原案どおり可決された。

#### 4. その他

教育長：明日は県立高校の一般入学試験です。現在のところ、受験する予定の生徒がPCR検査を受けるような連絡は入っていませんので、明日の試験は全員大丈夫だと思います。

西橋委員：新聞を見ていますと、高校入試の募集定員で、伊香高校の定員が69人のうち30数人というような数字でした。湖北地域の高校を今後どうしていくかという方向性が決まっているのでしょうか。

教育長：県の高校教育担当からの話はございません。ただ、伊香高校も含めて、今後また高校の再編等については必要となってくる。それは志願者の数を見ていてもわかります。南の高校は結構定員を超えています。そうでないところとバランスが取れていません。

伊香高校についてももう少しお話しさせていただくと、今年1月の進路志望調査は推薦入試等も一般入試も全部入れて何人ぐらい伊香高校を志望するかということですが、それでも50人台でした。推薦入試等が終わった現在の段階でこのような状況だということは、定員割れするのはやむを得ないと思います。

伊香高校の地元地域でも、このままではいけないということで、魅力ある学校にするための団体も組織されているように聞いております。

西橋委員：私が現職だった時は、長浜農業高校で退学者が多かったです。最近

そういう傾向がなく、定員がほぼ埋まっています。今、長浜農業高校では独自の教育をやっている、よく新聞にも出ています。やはり魅力ある、特色ある教育をやっていないといけないと思います。

教育長：長浜農業高校は、長浜北高校と長浜高校が統合されるという話が出始めた頃、当時の校長先生が、非常に改革に熱心な方で、従来の農業経営、農業土木、畜産といった内容に加え、ガーデニングや、バターやハムの加工といった取組を採用され、これで高校のイメージがだんだん変わってきたと思います。その流れが今でも続いていると思います。

廣田委員：私の知っている方で、長浜農業高校の女子生徒がいます。本人は一生懸命部活や生徒会活動をしています。将来農業をやりたいということで自分の目標を持って頑張っています。

例えば民間から校長先生を採用するということはどうでしょうか。

教育長：面白い方法だと思います。ただ、どうするとそれが実現するのか、先進的に取り入れているところから勉強してみないといけないと思います。

西橋委員：東京や大阪で、過去何年か民間校長を入れたという実績があります。一時すごく盛り上がりましたが、最近は下火になったようですね。

美濃部委員：伊香高校のことは、地元では非常に危機感があり、今おっしゃったような特色を出してもらって、もう少し何とかならないかという思いがございいます。また学校だけではなく、木之本駅の無人化など、色々なものに影響が及んできています。なかなか難しいところです。

西橋委員：湖北から優秀な生徒が彦根に流れています。彦根東高校の生徒は膳所高校を目指すということで、さらに流れてしまっています。3年前には、今までであれば長浜市の高校へ行ったと思われる生徒が50人南へ流れました。

教育長：彦根市では、本来地元の高校へ行けた子が、湖北から流れてくる子がいるため南に行かないといけないようになったとおっしゃっているそうです。

中村委員：正規の職員数が気になります。40代の人数が少ないです。経験も積まれて担任として一番頼れる世代の先生が少ないなというのは非常に気になりました。

西橋委員：これは長浜市だけではなく、県下全体がこのような状態です。

教育長：幼児教育職もそうです。

美濃部委員：団塊の世代がたくさんおられたから、採用されなかったのでしょうか。

教育長：県教委は、新任の先生は10年経つまでに2つ市町を経験してくださいという方針です。長浜市に家があって、長浜市出身だから長浜市に配置になるかということ、そうはならない方が多いです。同様に、長浜市にも他市から来られています、一番多いのは彦根市からです。異動の時期には彦根市へ帰りたいという先生が多かったです。

でも、去年ぐらいから、このまま長浜にいたいという先生も出てきつつあります。何とかこれを増やしていかないといけません。異動希望を取っても、第

2希望、第3希望にも長浜市が出てこないとなると、長浜の教員の力がどんどん落ちてしまいます。そういうことにも神経を使っていけない時代であるのは事実です。

彦根市の方でも、このまま長浜にいたいと言ってくれている方や、長浜の学校で勉強したいと言ってくれている新任の先生もいます。

長浜市出身で彦根市などに勤務されている方には、真面目で頑張っている人が多いです。

## 5. 閉会

教育長から閉会宣言があった。